

大船渡だより

カリタス大船渡ベースの活動紹介★

学生さんと地域の方々との交流会①～大阪信愛女学院高校編～

夏休みの時期となり、今年も全国の高校生さん、大学生さんがボランティア活動のために大船渡ベースに来てくださっています。

大船渡ベースでは、仮設住宅や災害公営住宅に住んでいらっしゃる方々に寄り添う活動が重要な活動のひとつになっています。そこで今年は、来てくださる学生さんたちに自分たちで何かイベントや出し物を企画してきてほしいとお願いしておきました。

先日、第1弾として、大阪から大阪信愛女学院高校の皆さんが12名来てくださいました。そして大船渡でいちばん大きな仮設住宅の長洞仮設住宅へ訪問しました。仮設住宅に住んでいらっしゃる方はもうだいぶ少なくなってきましたが、5人の方が集まってくださり、関西からの高校生の皆さんとの交流会を楽しみにしていただきました。

まずはじめに学校の校歌、学院歌に続いて、聖歌「あめのきさき」を歌っていただきました。澄んだ歌声に心が洗われるようでした。そして歌詞カードが配られ、嵐の「ふるさと」をみんなで一緒に歌いました。住民の方は知らない歌だったので初めは小さな声でしたが、だんだんと歌声が大きくなっていきました。ダンス部に入っている学生さんがダンスを披露してくださり、拍手喝采でした。その後、自分たちで作った「大阪〇×クイズ」。「大阪で一番人気のある食べ物はたこ焼きである。〇か×か？」正解は×。一番人気はラーメンだとのこと！？でもたこ焼き器はこの家庭にもあるという話に住民の方々は驚いていました。東北では持っている家庭はほとんどないですから。正解者には高校生たちが作ったミサンガがプレゼントされました。そしてお茶を飲みながら方言の話で盛り上がり、さらにこちらの方言「ケセン語」のラジオ体操で大盛り上がり！記念写真を撮影後には、住民の方から「お元気で」「楽しかったよ、また来てね」とお声を掛けていただきました。とても温かい交流会となりました。



学生さんと地域の方々との交流会②～京都洛星高校編～

京都にある洛星高校の男子高校生5名と先生1名が、4泊5日のボランティア活動を行いました。初日に高校生が「色々な方々に耳を傾けたい」と話したとおり、翌日の在宅訪問の感想では「震災の話だけでなく、今後の生き方についても教えてもらった」と話していました。山浦先生の講話では、津波は30～40年に1度来ることを勇猛果敢に受け入れるケセン人の心に触れました。

下館下アパートでの高校生によるイベント企画では、まず、風船バレーで住民の皆さんとの距離を縮め、次のペットボトルのボウリングでは白熱した個人戦でした。次に、皆で童謡や唱歌を歌いました。その間、1人の高校生はくるみをすり潰し、



くるみだれを作り、慣れた手つきで白玉団子を丸め、くるみ団子を作りました。できたてのくるみ団子を戴きながらお茶っこし、震災当時や戦時中の話を伺いました。「どんなに辛いことも生きてる証し」との言葉に感銘を受けました。

また、午後はベースで「ポッチャを楽しむ会」に参加し大船渡チームと対戦しました。高校生は初めてのポッチャに夢中になり作戦を真剣に立て、地域の方々是好敵手の登場に腕が鳴り、レベルの高いゲーム展開でした。

高校生が真剣に耳を傾けることで、地域の方々からより親密な語りを引き出され、高校生はより多くを吸収しました。心と心でキャッチボールをするようなふれあいとなりました。

↑ペットボトルを使ったボウリング
試合は白熱!

どんどん変化する街… 建設工事進行中!!

大船渡町の土地区画整備事業のため、3月に「サンデー大船渡野々田店」が、5月には仮設飲食店街である「大船渡屋台村」と「復興おおふなとプレハブ横丁」が営業を終了しました。役目を終えた後は粛々と解体が進み、7月上旬には土地の半分以上が更地となっています。今後はサンデーの本設店舗が建つ予定で、また近くには新しい集合住宅も建設中です。

大船渡町の中心市街地としての役割を期待されているキャッセン大船渡は、4月にオープンした後もまだまだ建設工事が進行中で、11月にはかもめの玉子で有名な「さいとう製菓」の本店が開業予定です。現在の店舗より交通の便がよくなりますが、大船渡ベースから遠くなってしまうので、ボランティアさんがお土産を買うのに少し不便になってしまいそうです。



大船渡市の元中心地の様子 (2017/8/11 撮影)



震災から
6年5ヶ月...

仮設の商店街の営業が終了し、解体作業が進行しています(写真下部)

被災地見学



ボランティアさんには必ず被災地見学をしてもらうことにしています。6年5ヶ月前の震災の様子のDVDを観て、その後、車でDVDに映っていた場所を回り、復旧復興の様子を見学します。かなり復興しているところもあれば、ようやくかさ上げ工事が始まったばかりのところもあります。「現地に来てみなければ、わからないことがたくさんあった」「もうすっかり復旧復興は終わっているんだと思っていた」という感想が多く聞かれます。地元に戻ったら、見聞きしたことをみんなに伝えて、本当の復興にはまだまだ時間がかかるので、被災地のことを忘れずに応援し続けてほしいと伝えてください、とお願いしています。

7月1日～31日の活動紹介

- 1日: 買物送迎
- 2日: 山口西アパート たこ焼き
- 4日: 後ノ入仮設住宅 メンズサロン
- 5日: 買物送迎 / 平南アパート お好み焼き / 手芸サロン
- 6日: 個人依頼 買物補助
- 7日: 歌っこのつどい
- 8日: 買物送迎
- 11日: 後ノ入仮設住宅 メンズサロン / カリタスシネマ
- 12日: 買物送迎 / 手芸サロン / 個人依頼 個人送迎
- 13日: 大立仮設住宅 カリタスサロン / 個人依頼 PC修理
- 14日: 視察研修 / 個人依頼 PC修理
- 15日: 買物送迎
- 18日: 長洞仮設住宅 学生企画イベント / 上壺仮設住宅 たこ焼き
- 19日: 買物送迎 / 後ノ入仮設住宅 草取り / 手芸サロン
- 20日: 所通東アパート たこ焼き / カリタスシネマ / 外国人支援
- 21日: 元気度アップ教室 / 個人依頼 引越し / 個人依頼 個人送迎
- 22日: 買物送迎 / 抹茶サロン / 個人依頼 しいたけ農園
- 23日: 個人依頼 しいたけ農園
- 25日: 個人依頼 換気扇清掃
- 26日: 買物送迎 / おでかけ広場 (社協主催) 長洞仮設住宅 ベンチ解体 / 折り紙サロン
- 27日: 盛中央団地 たこ焼き / 個人依頼 土地整備、個人依頼 PC修理
- 28日: 下館下アパート 学生企画イベント ポッチャを楽しむ会と学生企画イベント
- 29日: 買物送迎 / 平南アパート夏祭り たこ焼き
- 30日: 杉下団地 たこ焼き

◎随時、ベースでお茶っこと在宅訪問を行なっています。

ボランティア登録者数
男性 585人 女性 1108人 ⇒ 合計 1693人 ◆7月1日～7月31日 ボランティア数 男性: 12名 女性: 12名

ベースからのお知らせ

女性ボランティア募集中!!! ●9月2日(土) 9:00～16:00 子育て支援イベント(子どもの見守り)
ボランティアさん随時大募集中です! 興味のある方はお気軽にお問い合わせください。